

日本認知科学会第 38 回大会のご案内（第 3 号通信）

日程： 2021 年 9 月 3 日（金）～5 日（日）
場所： オンライン開催（Web 会場）
主催： 北星学園大学
札幌市厚別区大谷地西 2 丁目 3 番 1 号
大会 Web ページ：
<https://www.jcss.gr.jp/meetings/jcss2021/>

大会委員長： 大坊郁夫（北星学園大学）
実行委員長： 眞嶋良全（北星学園大学）
プログラム委員長： 大本義正（静岡大学）

日本認知科学会第 38 回大会は、2021 年 9 月 3 日（金）から 5 日（日）の会期でオンライン開催いたします。できれば、少し過ぎしやすくなったであろう初秋の札幌で皆様に直接お会いしたかったのですが、感染状況を鑑み、完全バーチャルで開催することを決定いたしました。誠に残念ではありますが、諸事情をご賢察の上、ご理解いただけますようお願い申し上げます。しかしながら、大会コンセプトでもある、『認知科学の DX（デジタルトランスフォーメーション）』に込められるよう、オンラインの持つ強みを活かした大会開催を目指し準備を進めて参ります。多くの方々のご発表とご参加を心よりお待ちしております。

1. 大会概要

1.1. 大会日程

大会開催期間中の日程は下記を予定しています。

8/30～：Web 会場プレオープン

9/3：開会式，口頭発表（2 セッション），
ポスター発表，OS

9/4：企画シンポジウム，総会，各賞受賞式，
フェロー講演，OS，懇親会

9/5：口頭発表，特集号セッション，
ポスター発表，OS

～9/30：アーカイブ配信

大会プログラムの詳細は、追って大会 Web ページにてお知らせいたします。

1.2. 大会会場

本大会は、zoom 会場（企画シンポジウム，口頭発表，OS，学会行事），oVice 会場（ポスター発表，懇親会，会員の交流：<https://ovice.in/ja/>），Slack 会場（発表資料の公開，発表への質疑応答，各種アナウンス），YouTube 会場（ポスター発表フラッシュトーク，OS フラッシュトーク）の 4 つの Web 会場を併用して開催いたします。それぞれのアクセスリンクや利用方法のマニュアルは、大会参加のお申し込みをいただいた方に、順次お送りいたします。各会場の利用方法は、追って大会 Web ページにてお知らせいたします。

2. OS 企画

本大会でもこれまでの大会に倣いオーガナイズドセッション（OS）を開催いたします。ご提案いただいた企画に対してプログラム委員会で厳正に審議し、採否を決定しました。企画提案をしてくださいました皆様に厚く御礼を申し上げます。また、大会開催へ向けたご準備にも引き続き積極的にご協力いただきますようお願いいたします。それぞれの OS の企画詳細は大会 Web ページに掲載しています。活発な交流の機会となることを期待しております。

代表者	採択 OS 企画名
布山美慕	非可換確率論を用いた認知科学（量子認知）の基礎と展開可能性
土倉英志	文化的実践における認知研究の相互理解に向けてー理論や世界観と知見の関係を探る
伊藤 篤	多元化する異文化体験：COVID-19 後に楽しく観光するために
林 勇吾	認知科学のモデル論ー哲学から感情までー
小林春美	推論に基づくヒト・コミュニケーションの進化と未来
伊藤毅志	ゲーム研究の新展開（3）～認知データの計測と評価～
伴 睦久	認知・認識におけるダイバーシティとインクルージョン（D&I）：当事者と研究者の共創が切り拓く知のフロンティア
清水大地	The creative self：創造的な自己を育む
市川 淳	行動実験と計算機シミュレーションの接続ー認知的インタラクションフレームワークの構築に向けてー
須藤 智	コロナ禍・DX で人と人工物の相互作用場面の何が変わったのか、今後どう変わるのか？
小橋康章	超々高齢化社会の認知科学：いま私たちにできること
小野哲雄	プロジェクションのモデル化と応用へ向けて
佐藤由紀	芸術を「情報」で現わす意味
益川弘如	教育評価のデジタルトランスフォーメーションに向けて：算数・数学を例に

3. 企画シンポジウム

大会のメイン企画となるシンポジウム「認知科学の研究・実践の DX（デジタルトランスフォーメーション）」（仮題）では、これからの研究や実践活動のありようを変えるであろう DX の現状を、データ取得を始めとする研究活動そのものにおける DX，教育や実践活動における DX，研究交流の DX という観点から、4名の第一人者にご登壇いただきます。

- 佐々木恭志郎 先生（関西大学）：GoTo オンライン-Web 実験・調査を利用した非接触型ヒト行動データ収集-
- 山田 祐樹 先生（九州大学）：いともたやすく行われるえげつない研究行為

- 植阪 友理 先生（東京大学）：オンラインを活用した実践を通じた学習者の自立支援ーオンライン学習法講座およびオンライン個別学習相談の実践からー
- 阿部 慶賀 先生（和光大学）：JCSS2020 の失敗経験から得た研究交流の DX と心的制約

対面と非対面，オフラインとオンライン，平時と非常時といった一見すると相反する概念を，単純に二項対立的にとらえるのではなく，オンラインとオフライン，あるいは対面と非対面をつなぎ，俯瞰するような認知科学のあり方を模索できる企画にしたいと考えています。

4. 研究発表

4.1. 発表資格

論文執筆者のうち少なくとも 1 人が日本認知科学会の会員である必要があります。

4.2. 発表形態

A) 一般セッション

「口頭」か「ポスター」のどちらかになります。発表形態については，第一著者宛に既にご連絡いたしております。

発表方法：「口頭発表」

口頭発表は zoom 会場にて Zoom ウェビナーにより開催します。プレゼンテーション用のファイルを各自でご用意ください。

発表は一発表あたり，15分+質疑応答5分です。発表者の方は，遅くとも口頭発表セッション開始 10 分前までに zoom 会場へ入場し，機器の接続等の確認をお願いいたします。

発表に対する質疑応答は，発表当日ウェビナー内の Q&A，および Slack 会場に寄せられた質問に対して，口頭またはテキストでお答えい

たきます。また大会会期に先立って開場される Slack 会場にて、発表者の方は発表資料の公開と質疑への応答が可能になります。Slack 開場の利用方法は、追って大会 Web ページ等にてお知らせいたします。

口頭発表は、大会の記録と終了後のアーカイブ配信のために、大会運営委員会により録画させていただきます。あらかじめご了承ください。録画およびアーカイブ配信に同意できない場合は、大会運営委員会まで事前にご連絡ください。また、運営委員会以外の方が、口頭発表を個人的に録画することはお控えください。

発表方法：「ポスター発表」

ポスター発表は oVice 会場にて開催します。会場では、ポスター発表エリアに、クリックすることでポスターのサムネイル画像を見ることが出来るオブジェクトをポスターごとに配置します。発表者の方は、発表時間に自分のポスターが置かれている場所で、参加者とライブで発表および質疑応答を行っていただきます。Web 接続が可能なマイク(カメラも使用できません)をご準備ください。各発表には在籍責任時間(1時間)を設けます。

大会開催期間外および発表時間外の質疑は Slack 会場に設けたチャンネルで応答できます。

発表者の方は、以下のものを 8 月 20 日までにご準備ください。

- ① ポスター発表に用いるサムネイル画像と高精細版画像 (PDF 等、一般のビューアソフトで閲覧可能なファイル形式)

ポスターのサムネイル画像と高精細版画像は、全てのポスター発表者が提出してください。ポスターの方向はランドスケープ、ポートレイトのいずれでも構いませんが、サムネイル画像

は横幅が 450px 以下で作成してください。

- ② 各ポスター発表のフラッシュトーク動画 (15 秒以内の発表宣伝用動画. アスペクト比 16:9, MPEG4 (.mp4) 形式)

各発表のフラッシュトーク動画は、複数の発表をまとめて 1 つの動画とし、大会期間およびアーカイブ配信期間中に、YouTube 会場で視聴可能にします。YouTube 会場は Slack 会場または、oVice 会場からのみ視聴できる限定公開とし、大会参加者以外へは公開いたしません。以上の条件に同意せず、アーカイブ配信を希望されない場合は、動画は提出なさらずに構いません。動画の提出を以て、YouTube 会場での配信に同意いただけたものとみなします。

以上のポスター発表画像およびフラッシュトーク画像の提出方法は、追って大会 Web ページ等にてお知らせいたします。また oVice 会場の詳細な利用方法は、8 月 20 日頃までに同様にお知らせいたします。

B) オーガナイズドセッション(OS)

各 OS で企画された研究、および OS での発表に採用された研究が発表されます。各 OS の開催時間は 2 時間です。各 OS のオーガナイザーは、OS の概要を示すフライヤー (A4 横向き, PDF 形式) を作成いただき、7 月 9 日までにご提出ください。様式は自由です。プログラム委員会宛のメール (jcss2021-pc@jcss.gr.jp) に、件名:「JCSS2021OS フライヤー (OS 名)」として、提出をお願いします。

OS は、OS ごとに zoom 会場に ミーティンググループを用意します。OS の進行はオーガナイザーに一任いたします。発表の形式等はオーガナイザーの方から、発表者にお伝えください。

OS のオーガナイザーの方は、8 月 20 日までに、3 分以内の OS 宣伝用となるフラッシュト

ーク動画（アスペクト比 16:9、MPEG4 (.mp4)形式）を作成し、提出ください。フラッシュトーク動画は、YouTube 会場で限定公開いたします。動画の提出を以て、YouTube 会場での配信に同意いただけたものとみなします。YouTube 会場での配信を希望されない場合は、動画の提出は必要ありません。

なお各 OS は記録のために大会運営委員会で録画いたしますが、アーカイブ配信は行いません。

5. 発表論文原稿

5.1. 原稿の提出

査読の結果、採択された発表は、①**発表論文集用カメラレディ原稿**と、大会で配布する大会パンフレットに掲載する②**発表要旨（200 字）**を期日（**2021 年 7 月 9 日（金）**）までにオンラインでご提出いただきます。発表論文集用カメラレディ原稿のページ数は **6 ページ以内を推奨**します（上限は 10 ページです）。読者の利益を念頭に、図表等を有効に活用しながら明瞭かつ簡潔な原稿執筆を心がけてください。

ご提出いただいた原稿は、大会実施と同時に発表論文集として電子媒体で発行・公表いたします。さらに大会後半年を目安に J-STAGE などの電子的な手段により一般に公開される予定ですので、ご承知おきください。

5.2. 著作権について

本大会では、大会発表論文集の一般公開を予定しています。そのため、大会発表論文の著作権は学会誌『認知科学』の規定に準ずるものとします。大会発表論文原稿の登録をもって著作権譲渡に同意したものと見なしますのでご了承ください。ご不明な点は学会事務局までお問い合わせください。

5.3. 大会発表賞

すぐれた若手発表者に対して大会発表賞（対象：OS・口頭発表・ポスター発表）を授与します。大会発表賞の対象者は以下の条件を満たしている必要があります。

- ① 本学会会員（正会員・学生会員）である。
- ② 生年が 1988 年以降である、または学生会員である。
- ③ 所定の大会発表手続きが済んでいる。
- ④ 第 1 著者である。

これらの条件を照合するために、大会発表賞の選考対象になることを希望される方は、参加申し込み時に生年の登録をお願いします。

6. 参加申し込み方法

認知科学またはその関連分野に関心がある人は誰でも参加することができます。全ての参加申し込みはオンラインで行います。以下のサイトより大会参加登録および参加費の納入をお願いします。

大会参加登録ページ：

<https://jcss2021-registration.peatix.com/>



大会参加登録時は、ご所属、ご連絡かとなるメールアドレス、および連絡先住所を必ずご記入頂けるよう、お願いいたします。

6.1. 参加費

大会へ参加する前に所定の参加費をお支払いください。**早期登録期限は 2021 年 8 月 6 日**

(金)です。各会員種別の参加費は以下の通りです。

参加費

参加費 (円)	会員		非会員	
	一般	学生	一般	学生
早期登録	6,000	0	9,000	1,000
通常登録	7,000	0	10,000	1,000

6.2. 参加要領

各 Web 会場のご案内および会場の利用方法については、参加申込時に記入していただいたメールアドレスおよび大会 Web ページ、または Peatix イベントページにて改めてご連絡いたします。

7. 今後のご案内

今後の大会に関するスケジュールは次のように予定しています。

7.1. 重要日程

- ・7月5日：参加申し込み開始
- ・7月9日：カメラレディ原稿の提出
- ・8月6日：参加早期登録終了，プログラム公開（予定）
- ・8月20日：各種発表資料の送付締め切り
- ・8月30日：Web会場プレオープン
- ・9月3-5日：大会開催

7.2. 今後のお知らせ

大会プログラムの詳細および発表・参加要領の詳細については大会 Web ページにてお伝えいたします。

8. 問い合わせ先

大会運営一般について：

jc2021-lc@jc2021.gr.jp

大会発表，査読，プログラムについて：

jc2021-pc@jc2021.gr.jp